



👤 ログイン/アカウント登録

ホーム

製品情報 ▼

各種お知らせ

疾患情報 ▲

すべて

糖尿病 ▼

疼痛・神経 ▲

片頭痛

アルツハイマー病

がん疾患 ▼

皮膚疾患 ▼

リウマチ性疾患 ▼

お役立ちツール ▼

お問い合わせ

[ホーム](#) > [疾患情報](#) > アルツハイマー病

疾患情報をキーワードから検索

🔍

疾患情報

疼痛・神経

国内の医療関係者の方々に対して、疾患領域における医科学情報、日常診療に役立つ情報を掲載しています。

アルツハイマー病

映像で学ぶ
アルツハイマー病の
病理学的変化

字幕監修：岩坪 威 先生
(東京大学大学院医学系研究科
脳神経医学専攻 神経病理学分野 教授)

[映像で学ぶ「アルツハイマー病の病理学的変化」](#)

アルツハイマー病の病理学的な特徴は、アミロイドから形成される老人斑、過剰リン酸化タウタンパク質からなる神経原繊維変化、そして神経細胞脱落です。本動画では、CGを含む豊富なイラストを用いて、アルツハイマー病の病理学的変化をご紹介します。

E-Learning

お探しの情報が見つからない場合は、[こちら](#) よりお問い合わせください。

[研究者主導研究\(IIR\)](#) [ウェブサイトご利用上の注意](#) [個人情報の保護について](#)

[アクセシビリティに関して](#) [販売情報提供活動に関するご意見](#)

18歳未満の方向けに制作されたサイトではございません
VV-MED-134539 このサイトは日本国内の医療従事者の方のみを対象としています。
Copyright © 2023 Eli Lilly Japan K.K. All rights reserved.




 [チャットボットで問い合わせる](#)

当社製品の副作用・不具合に関わると思われる事項につきましては、必ずお電話(0120-360-605)にてお問い合わせいただけますようお願いいたします。

サイラムザ[®]（ラムシルマブ（遺伝子組換え））

- 製品情報
- 製品関連動画
- 患者向け資料
- 製品Q&A
- お知らせ
- 疾患情報



抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗VEGFR-2[®]モノクローナル抗体

サイラムザ[®] 点滴静注液 100mg
点滴静注液 500mg

CYRAMZA[®] Intravenous Injection ラムシルマブ（遺伝子組換え）注射液

※治療・診断時の使用に際しては必ず承認された適応症を参照してください。【添付文書参照】

サイラムザは、血管内皮増殖因子受容体 2（VEGFR-2）に対するヒト型抗VEGFR-2 モノクローナル抗体〔遺伝子組換えヒト免疫グロブリン G1（IgG1）〕です。

製品情報

基本情報：

- [電子化された添付文書](#)
- [インタビューフォーム](#)
- [医薬品の封に関する情報\(ホットメルト\)](#)
- [製品コード/製品薬価一覧](#)

RMP/適正使用資料：

- [医薬品リスク管理計画書\(RMP\)](#)
- [適正使用ガイド（肝細胞癌編）](#)
- [適正使用ガイド（胃癌編）](#)
- [適正使用ガイド（結腸・直腸癌編）](#)
- [適正使用ガイド（非小細胞肺癌編：エルロチニブ塩酸塩又はゲフィチニブ併用）](#)
- [適正使用ガイド（非小細胞肺癌編：ドセタキセル併用）](#)
- [サイラムザ（ラムシルマブ） 医薬品リスク解説書](#)
- [患者向医薬品ガイド](#)



ツール：

- [資料ネット発注](#)
- [使用期限検索](#)

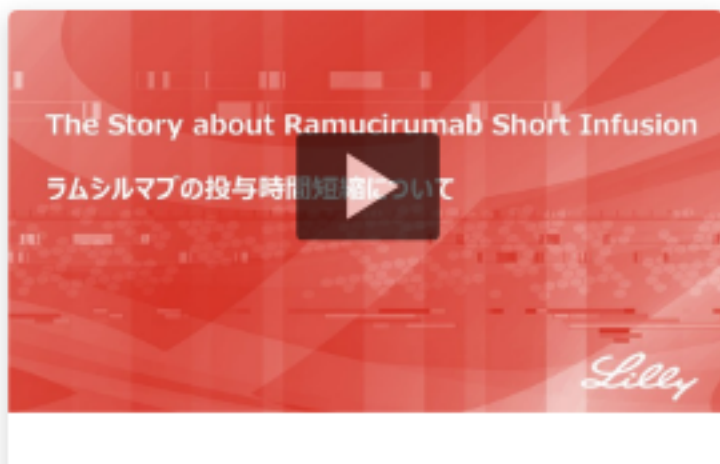


2022年11月現在
サイラムザ[®]点滴静注液100mg

適正使用情報 (医療関係者向け)

-  [サイラムザ（ラムシルマブ）市販直後調査結果概要のお知らせ](#)
-  [サイラムザ（ラムシルマブ）血管新生阻害薬の副作用マネジメント：蛋白尿、高血圧（結腸・直腸癌）](#)










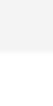
製品関連動画



[ラムシルマブの投与時間短縮について](#)

患者さん向け資料

こちらには、サイラムザの代表的な患者さん向け資料を掲載しております。他の患者さん資料きめ、閲覧もしくは発注されたい場合は、[資料ネット発注サービス](#)にアクセスいただき、ご利用ください。アカウント登録不要で簡単にウェブより発注していただけます。

-  [～非小細胞肺癌～サイラムザ+ゲフィチニブ療法で治療をはじめられる方へ](#)
-  [～非小細胞肺癌～サイラムザ+ドセタキセル療法で治療をはじめられる方へ](#)
-  [～非小細胞肺癌～サイラムザ+エルロチニブ療法で治療をはじめられる方へ](#)
-  [サイラムザ（ラムシルマブ）～非小細胞肺癌～RELAY患者さん向けダイアリー](#)
-  [サイラムザ（ラムシルマブ）太陽がんでサイラムザ療法を受けられる患者さんご家族へ](#)
-  [サイラムザ（ラムシルマブ）肝細胞がんでサイラムザ療法を受けられる患者さんご家族へ](#)
-  [サイラムザ（ラムシルマブ）胃がんでサイラムザ・パクリタキセル療法を受けられる患者さんご家族へ](#)
-  [サイラムザ（ラムシルマブ）胃がんでサイラムザ療法を受けられる患者さんご家族へ](#)
-  [サイラムザ（ラムシルマブ）非小細胞肺癌がんでサイラムザ・ドセタキセル療法をお受けになる患者さんご家族へ](#)
-  [肺がんと診断された方へ 非小細胞肺癌の治療について](#)

製品Q&A

副作用	
用法・用量	
その他安全性情報	
特殊患者への投与	
臨床試験	
薬効薬理	

お知らせ

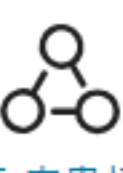
[すべてを閲覧](#) →

添付文書改訂

2022年08月 | [サイラムザ（ラムシルマブ（遺伝子組換え））添付文書改訂のお知らせ](#)

2020年11月 | [サイラムザ（ラムシルマブ）添付文書改訂のお知らせ](#)

お役立ち情報:



肺病 疾患情報

肺病に関連する疾患のトピックや自己学習いただくためのツールなどを国内の医療関係者向けにまとめて掲載しております。

製品情報詳細

※ 詳細は、電子化された添付文書を参照してください。

販売名	サイラムザ点滴静注液100mg／サイラムザ点滴静注液500mg(販売英語表記：Cynamza [®] Intravenous Injection)
一般名	ラムシルマブ（遺伝子組換え）（一般名英語表記：Ramucirumab（Genetical Recombination））
薬効分類名	抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗VEGFR-2注2）モノクローナル抗体 注2） VEGFR-2: Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-2（血管内皮増殖因子受容体2）
規制区分	生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品 注1) 注1) 注意—医師等の処方箋により使用すること
警告	<div><div>1. 警告</div><div>1.1 本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。 1.2 心筋梗塞、脳血管障害等の重篤な動脈血栓塞栓症があらわれ、死亡に至る例が報告されている。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。重篤の動脈血栓塞栓症があらわれた患者には、本剤を再投与しないこと。【9.1.1 参照】，【11.1.1 参照】 1.3 重篤の消化管出血があらわれ、死亡に至る例が報告されている。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。重篤の出血があらわれた患者には、本剤を再投与しないこと。【9.1.5 参照】，【11.1.4 参照】 1.4 消化管穿孔があらわれ、死亡に至る例が報告されている。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。消化管穿孔があらわれた患者には、本剤を再投与しないこと。【9.1.3 参照】，【11.1.3 参照】</div></div>
禁忌	<div><div>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</div><div>2.1 本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 2.2 妊婦又は妊娠している可能性のある女性【9.5 参照】</div></div>
効能又は効果	治療切除不能な進行・再発の胃癌 治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 がん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の切除不能な肝細胞癌
用法及び用量	〈治療切除不能な進行・再発の胃癌、がん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の切除不能な肝細胞癌〉 通常、成人には2週間に1回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として1回8mg/kg（体重）をおよそ60分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。 〈治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉 イリノテカン塩酸塩水和物、レボホリナート及びフルオウラシルとの併用において、通常、成人には2週間に1回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として1回8mg/kg（体重）をおよそ60分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。 〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉 化学療法既治療の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者の場合、ドセタキセルとの併用において、通常、成人には3週間に1回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として1回10mg/kg（体重）をおよそ60分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。 EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者の場合、エルロチニブ塩酸塩又はゲフィチニブとの併用において、通常、成人には2週間に1回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として1回10mg/kg（体重）をおよそ60分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
薬価基準記載の有無	有
製造販売業者名	日本イーライリリー株式会社 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号
承認条件	医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。
作成年月	＊ 2022年 8月改訂（第2版） ＊ 2020年 11月改訂（第1版、用法変更）

お探しの情報が見つからない場合は、[こちら](#)よりお問い合わせください。

[研究者主導研究\(IIR\)](#) [ウェブサイトご利用上の注意](#) [個人情報の保護について](#)

[アクセシビリティに関して](#) [販売情報提供活動に関するご意見](#)

18歳未満の方向けに制作されたサイトはございません
VV-MED-134539 このサイトは日本国内の医療従事者の方のみを対象としています。
Copyright © 2023 Eli Lilly Japan K.K. All rights reserved.



🗨️ チャットボットで問い合わせる

当社製品の副作用・不具合に関わると思われる事項につきましては、必ずお電話(0120-360-605)にてお問い合わせいただけますようお願いいたします。

マンジャロ[®]（チルゼパチド）

※本製品の警告・禁忌含む注意事項などについては、[こちら](#)より確認していただけます。

製品情報

製品関連動画

患者向け資料/服薬指導

製品Q&A

お知らせ

疾患情報

持続性GIP/GLP-1受容体作動薬（薬価基準収載）

マンジャロ[®]

チルゼパチド

アテオス[®]

マンジャロ[®]皮下注5mgアテオス[®]

マンジャロは、週1回投与の持続性のグルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド（GIP）受容体及びグルカゴン様ペプチド-1（GLP-1）受容体作動薬であり、「2型糖尿病」の機能又は効果を承認を取得しています。

市販後調査 第2回中間結果報告として、発売後2カ月間に報告された副作用情報と特に注意いただいた点をお知らせします。
マンジャロ(チルゼパチド) 市販後調査 第2回中間結果のお知らせ

2023年10月 | マンジャロ[®]皮下注アテオス[®]供給に関するお知らせ

【GLP-1受容体作動薬及びGIP/GLP-1受容体作動薬】ダイエット目的での使用に関する注意喚起について

製品情報

基本情報：

5 mg2.5 mg7.5 mg10 mg12.5 mg15 mg

マンジャロ[®]皮下注5mgアテオス[®]

電子化された添付文書

インタビュフォーム

取扱説明書

総合製品情報概要

医薬品の封に関する情報(ホットメルト)

製品コード/製品画像一覧

RMP/適正使用資料：

医薬品リスク管理計画書(RMP)

適正使用のお問い合わせ

患者向医薬品ガイド

ツール：

資材ネット発注

使用期限検索

関連情報：

くすりのしおり

適正使用情報（医療関係者向け）

PDF

マンジャロ（チルゼパチド）市販後調査 中間結果概要のお知らせ

PDF

マンジャロ（チルゼパチド）市販後調査 第2回中間結果のお知らせ

PDF

マンジャロ（チルゼパチド）市販後調査へのご協力のお問い合わせ（MR 2回目以降訪問版）

PDF

マンジャロ（チルゼパチド）市販後調査へのご協力のお問い合わせ（MR初回訪問版）

製品関連動画

マンジャロ（チルゼパチド）SURPASS J-combo試験動画

2型糖尿病患者を対象とした国内第III相臨床試験【経口血糖降下薬とチルゼパチド併用療法】...

マンジャロ（チルゼパチド）SURPASS J-mono試験動画

2型糖尿病患者を対象とした国内第III相臨床試験【チルゼパチド単独療法】...

マンジャロ（チルゼパチド）SURPASS-1試験動画

2型糖尿病患者を対象とした国際共同第III相臨床試験【チルゼパチド単独療法】...

マンジャロ（チルゼパチド）SURPASS-2試験動画

2型糖尿病患者を対象とした国際第III相臨床試験【メトホルミンとチルゼパチドの併用療法】...

マンジャロ（チルゼパチド）SURPASS-5試験動画

2型糖尿病患者を対象とした国際共同第III相臨床試験【インスリン グラグルゲンとチルゼパチド併用療法】...

チルゼパチド

チルゼパチドの構造や作用機序についての動画です...

マンジャロ皮下注アテオス使い方動画

マンジャロをご使用にたいたい患者さん向けにアテオスの使い方について紹介している動画です...

患者さん向け資料/服薬指導

こちらには、マンジャロの代表的な患者さん向け資料を掲載しております。他の患者さん資料含め、閲覧もしくは発注されたい場合は、[資材ネット発注サービス](#)にアクセスいただき、ご利用ください。アカウント登録不要で簡単にウェブより発注していただけます。

マンジャロ皮下注アテオス 服薬指導サポート

マンジャロ皮下注アテオスの服薬指導をされる際にご活用いただける情報をまとめたページを公開しました。よくあるお問い合わせを中心に、患者さんへご...

PDF

マンジャロ（チルゼパチド）マンジャロと一緒に目指すHbA1c目標値

PDF

マンジャロ（チルゼパチド）機内持ち込みリリース

PDF

マンジャロ[®]皮下注アテオス[®]をお使いの方へ

製品Q&A

副作用	▼
用法・用量	▼
その他安全性情報	▼
特殊患者への投与	▼
薬物動態	▼
臨床試験	▼
薬効薬理	▼
製剤	▼
注入器	▼

お知らせ

すべてを閲覧 →

添付文書改訂

2023年07月 | マンジャロ（チルゼパチド）電子添付文書改訂のお知らせ

2023年02月 | マンジャロ（チルゼパチド）添付文書改訂のお知らせ

製品供給、その他

2023年10月 | マンジャロ[®]皮下注アテオス[®]供給に関するお知らせ

2023年08月 | マンジャロ[®]皮下注アテオス[®]供給に関するお知らせ

2023年07月 | マンジャロ[®]皮下注7.5mg/10mg/12.5mg/15mgアテオス[®]限定出荷開始のお知らせ

疾患情報

糖尿病 疾患情報

糖尿病に関連する疾患のトピックや自己学習いただくためのツールなどを国内の医療関係者向けにまとめて掲載しております。

※ 効能効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子化された添付文書を参照

製品情報詳細

※ 詳細は、電子化された添付文書を参照してください。

販売名	マンジャロ皮下注2.5mgアテオス／マンジャロ皮下注5mgアテオス／マンジャロ皮下注7.5mgアテオス／マンジャロ皮下注10mgアテオス／マンジャロ皮下注12.5mgアテオス／マンジャロ皮下注15mgアテオス（販売英語表記：Mounjaro [®] Subcutaneous Injection ATEOS [®] ）
一般名	チルゼパチド注射液（一般名英語表記：Tirzepatide）
薬効分類名	持続性GIP/GLP-1受容体作動薬
規制区分	劇薬 処方箋医薬品注2) 注2) 注意—医師等の処方箋により使用すること
禁忌	<div>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.2 糖尿病性ケトアシドーシスの、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者【インスリン製剤による速やかな治療が必須となるので、本剤を投与すべきでない。】 2.3 重症感染症、手術等の緊急の場合【インスリン製剤による血糖管理が望まれるので、本剤の投与は適さない。】</div>
効能又は効果	2型糖尿病
用法及び用量	通常、成人には、チルゼパチドとして週1回5mgを維持用量とし、皮下注射する。ただし、週1回2.5mgから開始し、4週間投与した後、週1回5mgに増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回5mgで効果不十分な場合は、4週間以上の間隔で2.5mgずつ増量できる。ただし、最大用量は週1回15mgまでとする。
薬価基準収載の有無	有
製造販売業者名	日本イーライリリー株式会社 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号
保険給付上の注意	本剤は新医薬品であるため、厚生労働省告示第107号（平成18年3月6日付）に基づき、2024年3月末日までは、投薬は1回14日分を限度とされている。
承認条件	医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。
作成年月	※ 2023年6月改訂(第4版) ※ 2023年4月改訂(第3版)

お探しの情報が見つからない場合は、[こちら](#)よりお問い合わせください。

研究者主導研究(IIR) ウェブサイトご利用上の注意 個人情報の保護について

アクセシビリティに関して 販売情報提供活動に関するご意見

18歳未満の方向けに制作されたサイトではございません
VV-MED-134539 このサイトは日本国内の医療従事者の方のみを対象としています。
Copyright © 2023 Eli Lilly Japan K.K. All rights reserved.